

『ちかくにあるとおく』鑑賞ガイド

『ちかくにあるとおく』は、ルイス・キャロルの児童小説『鏡の国のアリス』から着想を得てつくられました。子猫を相手に鏡のなかの世界を空想しているうちに、「鏡の国」へと入り込んでしまうアリス。空想の世界では、花々とおしゃべりができたり、時間が逆方向に進んだり、不思議なことが当たり前のように起こります。

これはお客様が主人公となって「空想の世界」を冒険していくというお芝居です。お芝居から感じたことをつなぎ合わせて想像をふくらませながら、観た人それぞれが物語をつくっていきます。

作品を楽しんでいただくために

- ◆ セリフはありますが、からだの動き、音楽、舞台美術、衣裳で物語をあらわしているの、言葉がわからなくても楽しめます。
- ◆ 目の見えない方／耳の聴こえない方にも楽しんでいただけるよう、五感に働きかけるような仕掛けや演出もたくさんあります。
- ◆ 舞台美術や衣裳の一部に触ることができるキットや、舞台上で起きていることをリアルタイムで解説する音声ガイドの貸し出しも行っていきます。
- ◆ 歌や音楽がたくさん出てきます。歌ったり楽器を演奏したりする俳優の表情とからだで、音楽を目でも楽しむことができます。
- ◆ 歌のシーンでは歌詞カードが登場したり、俳優がセリフの書かれたプラカードを掲げたりします。
- ◆ お客様の反応がこのお芝居の一部になります。なので、笑い声、泣き声、驚き声など、すべて大歓迎！お客様全員が主人公です。



安心してご観劇いただくために

- ◆ 静岡芸術劇場は、グランシップと同じ建物です。東側（公園側）にある自動ドアから入ることができます。建物のなかに入ると、左手に受付カウンターがあります。チケットはそこで受け取ります。
- ◆ お芝居をみる会場は、受付カウンターの少し奥にある劇場のロビーです。受付や会場には案内スタッフがいます。鏡の破片の形をしたゲートがあり、そこでチケットを見せます。ゲートをくぐって中に入ると、鏡の破片のようなオブジェがたくさん飾られています。
- ◆ 会場のなかは、お客様が座るための椅子がならべられた「客席」と、俳優がお芝居をする「舞台」があります。客席には、いろいろな形の椅子がならべられています。舞台に近いスペースにはマットが敷かれ、そのうえにクッションが置かれています。座る席は空いているところから選びます。椅子に座ってお芝居をみたい人、マットでくつろぎたい人、それぞれ好きな姿勢でリラックスしてお芝居を観ることができます。車いすの方も好きな場所を選ぶことができます。
- ◆ 盲導犬もいっしょに客席でお芝居をみるすることができます。
- ◆ 客席にも案内スタッフがいます。困ったことやわからないことがあれば、お手伝いいたします。

